

吉野川水系の概要

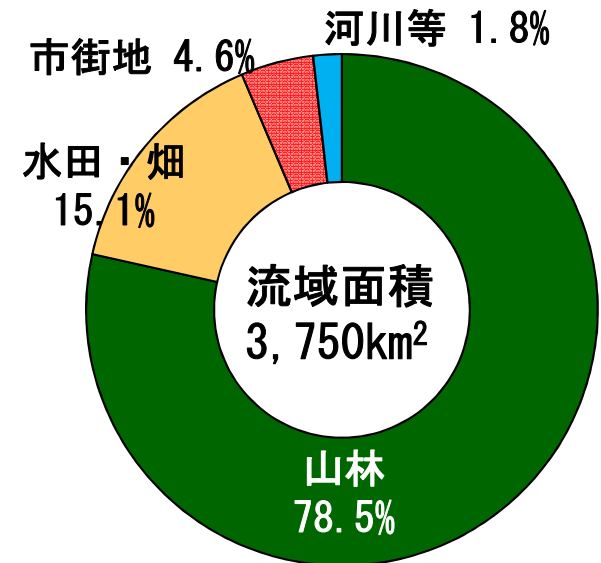
令和8年10月8日

国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部



吉野川の概要

- 吉野川は、その源を高知県吾川郡の瓶ヶ森（標高1,897m）に発し、穴内川、銅山川、祖谷川等を合わせながら流下、第十地点で旧吉野川を分派、紀伊水道に注ぐ、幹川流路延長194km、流域面積3,750km²の一級河川。
- 流域面積は、四国4県にまたがり四国全域の約20%に相当。
- 流域の土地利用区分は、山林が78.5%、水田や畑地等の農地が15.1%、宅地等の市街地が4.6%、河川等が1.8%。



吉野川流域の土地利用

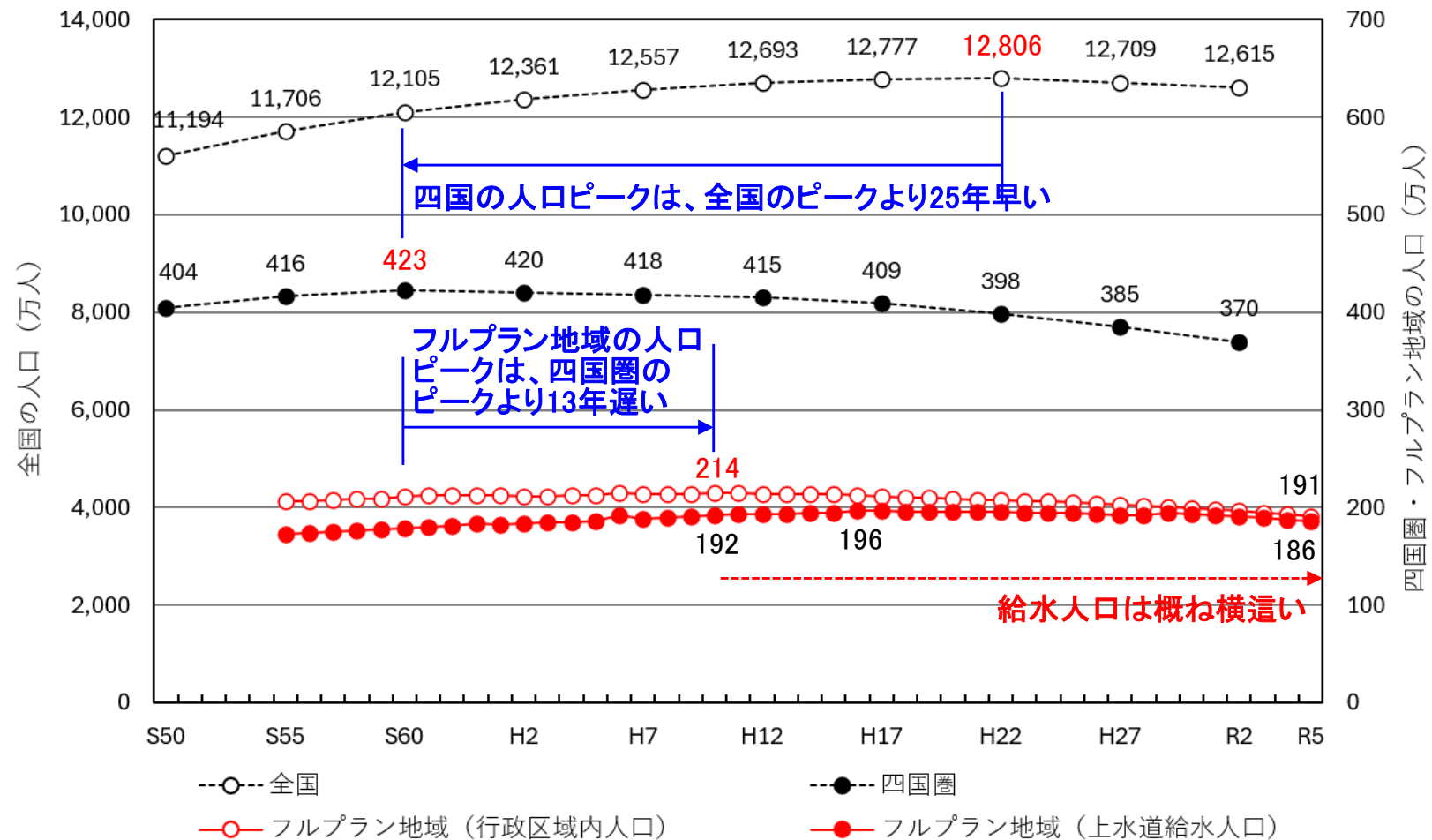
吉野川流域図



吉野川水系フルプラン地域における社会情勢 ～ 人口の状況 ～

- 四国圏の面積は全国比で約5%、人口は約3%の約370万人（R2. 10. 1時点）。
- 四国圏の人口は、昭和60年の約423万人をピークに減少。
- フルプラン地域の行政区域内人口は、四国圏より13年遅い平成10年の約214万人をピークに減少。
- フルプラン地域の上水道給水人口は、普及率（H10:89.7%→R5:97.4%）の上昇により近年は概ね横這い。

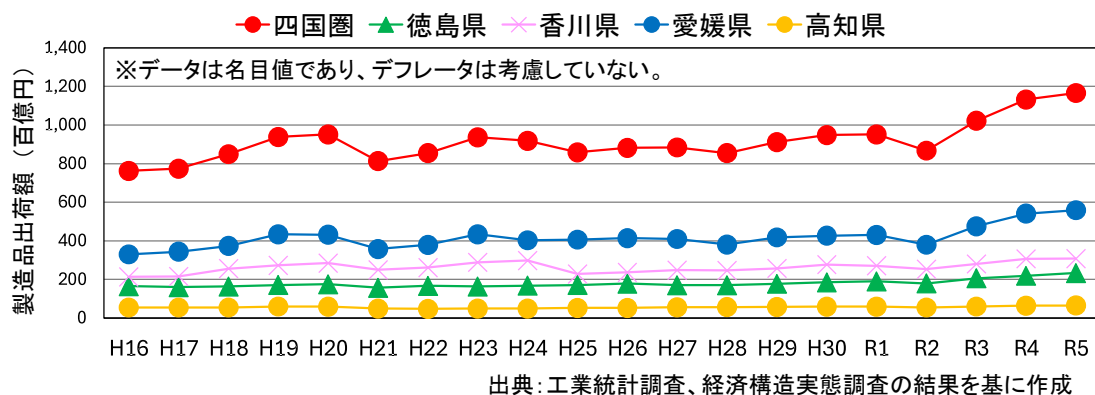
全国・四国圏・フルプラン地域における人口の推移



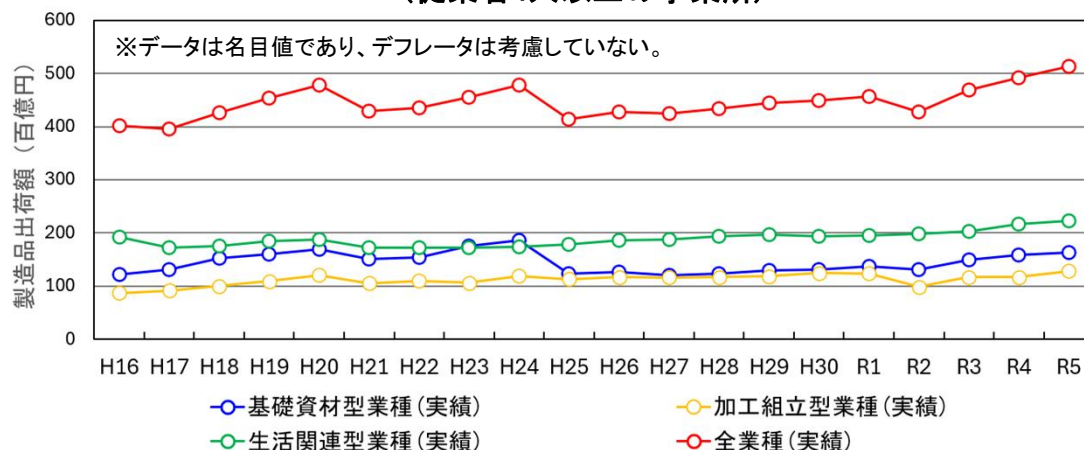
吉野川水系フルプラン地域における社会情勢 ～ 製造業の状況 ～

- 四国圏の製造業は、令和2年のコロナ禍による落ち込みから回復基調にあり、製造品出荷額は近年増加傾向。
- 四国圏には国内外で高いシェアを占める企業が多く存在。
- フルプラン地域の製造品出荷額は近年増加傾向。基礎資材型、生活関連型、加工組立型業種のいずれも製造品出荷額が増加傾向を示している。

四国圏における製品出荷額の推移
(従業員4人以上の事業所)



フルプラン地域における製品出荷額の推移
(従業員4人以上の事業所)



四国圏のグローバルニッチトップ企業

徳島県

- 大塚テクノ株式会社(中小企業)
「リチウムイオン電池向けサーマルサーキットブレーカー」

香川県

- 泉鋼業株式会社(中小企業)
「船用液化ガスタンクプラント」
- 株式会社マキタ(中小企業)
「小型船用ディーゼルエンジン」
- 帝國製薬株式会社(中堅企業)
「医療用パップ剤」

高知県

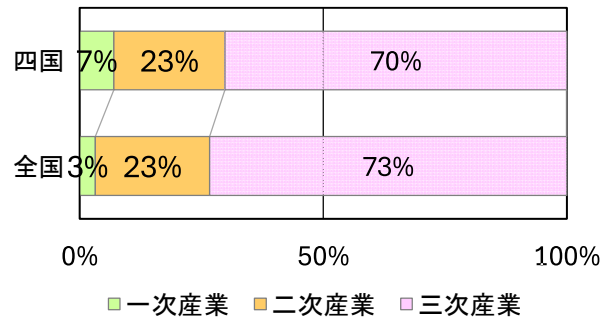
- 株式会社技研製作所(大企業)
「サイレントパイラー」
- ニッポン高度紙工業株式会社(大企業)
「アルミ電解コンデンサ用セパレータ」
- 廣瀬製紙株式会社(中小企業)
「MF/UF 膜支持体」

出典: 2020年版「グローバルニッチトップ企業100選」

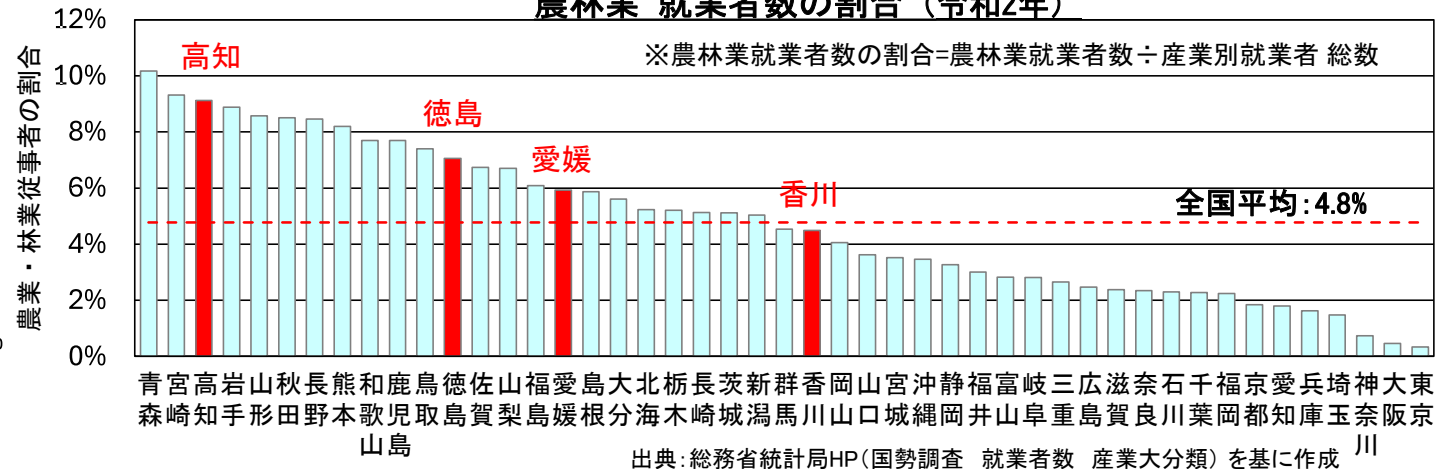
吉野川水系フルプラン地域における社会情勢 ～ 農業の状況 ～

- 四国圏は、全国に比べ第一次産業のウェイトが高く、全国有数の生産量を誇る野菜や果物を栽培。
- 6次産業化※の推進等、生産者、食関連産業への支援を中国四国農政局及び各県にて実施。
- フルプラン地域の主な営農地域は、徳島県東部（吉野川下流の左岸地域）と香川県。
- 徳島県東部地域の主な農産物は米、いも、にんじん。「鳴門金時」「春夏にんじん」等の高付加価値農産物も生産。
- 香川県の主な生産物は米、ブロッコリー。讃岐三畜（讃岐牛・讃岐豚・讃岐コーチン）として高品質な畜産物も生産。

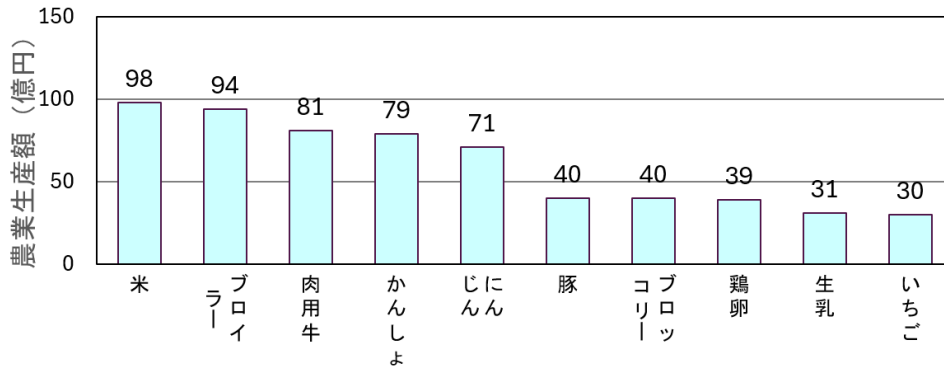
産業(3部門)就業者数の割合
(令和2年)



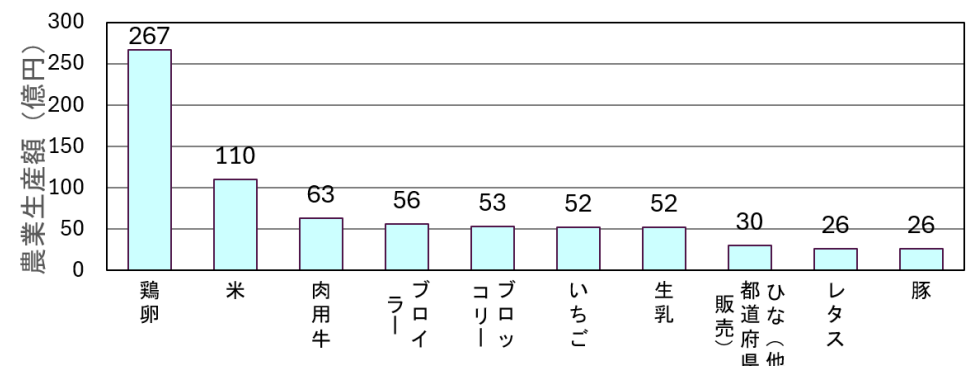
農林業 就業者数の割合 (令和2年)



徳島県の主な農産物の農業生産額 (令和5年)



香川県の主な農産物の農業生産額 (令和5年)



※6次産業化: 農林漁業者(1次産業)が、農産物などの生産物の元々持っている価値をさらに高め、それにより、農林漁業者の所得(収入)を向上していくこと。生産物の価値を上げるため、農林漁業者が、農畜産物・水産物の生産だけでなく、食品加工(2次産業)、流通・販売(3次産業)にも取り組み、それによって農林水産業を活性化させ、農山漁村の経済を豊かにしていくこととするもの (農林水産省HP)

出典: 農林水産省HP(生産農業所得統計)を基に作成

農水省HP「平成28年度 中国四国食料・農業・農村情勢報告」より

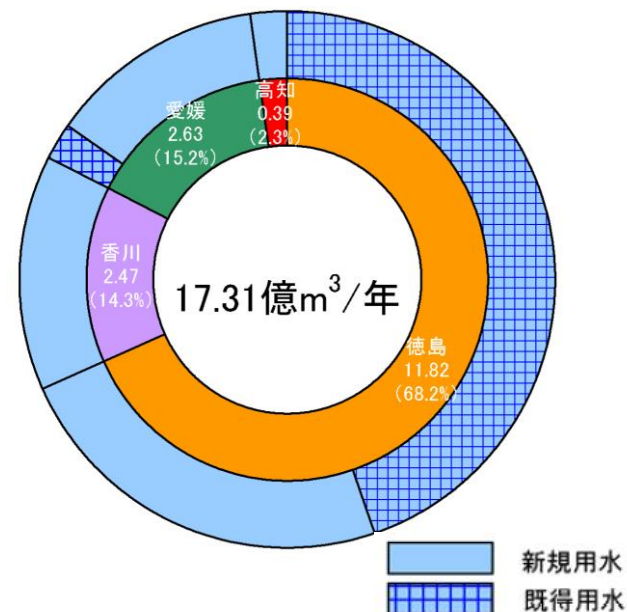
吉野川水系フルプラン地域における水利用の現状

- 吉野川水系では、豊富な水資源の有効利用と洪水被害の軽減を図るため、昭和40年代の初めから、「吉野川総合開発」が進められた。
- 現在、吉野川の水は、古くから利用してきた徳島県のほか、流域外の愛媛県東予、高知県中部及び香川県に分水され、四国4県における重要な水源。
- 吉野川総合開発による年間用水計画は17.3億 m^3 （既得用水含む）。吉野川本川、旧吉野川に加え、吉野川北岸用水、香川用水、愛媛分水、高知分水を通じて、農業用水、水道用水、工業用水及び発電等の目的で四国4県に供給。

吉野川の水利用状況



四国4県の用水配分 (吉野川総合開発計画における用水供給計画)



吉野川水系における水資源開発基本計画の概要

- 吉野川水系は、昭和41年11月に水資源開発水系に指定され、昭和42年3月に水資源開発基本計画（1次計画）が決定。
- その後、3回の全部変更を経て、現行計画は平成31年4月に策定された第4次計画。
- 令和5年1月の一部変更において吉野川下流域用水事業が追加（農水省から水資源機構へ承継）された。

1. 水の用途別の需要の見通し及び供給の目標

(1) 水の用途別の需要の見通し

おおむね10年後を目途とする用途別の需要の見通し

① 水道用水の需要の見通し

現況と比較し、高位「やや増加」、低位「やや減少」

② 工業用水の需要の見通し

現況と比較し、高位「増加」、低位「おおむね横ばい」

③ 農業用水の需要の見通し

農業用水の新たな必要量は見込まれない

(2) 供給の目標

水供給に影響の大きいリスク別に目標を設定

① 渇水に対する目標

- ・10箇年第1位相当の渇水：安定的な水利用を可能にすること
- ・既往最大級の渇水：生活・経済活動に重大な影響を生じさせない必要最低限の水を確保すること

② 大規模自然災害に対する目標

- ・生活・経済活動に必要な最低限の水を確保するとともに、水資源開発施設の被害を最小限に留め、早期に復旧を図ること

③ 施設の老朽化に対する目標

- ・水資源開発施設の機能を将来にわたって維持・確保すること

2. 変更の経緯

S41. 11. 18 水系指定

S42. 3. 14 基本計画策定（水需給計画決定、早明浦ダム）

S43. 7. 16 一部変更（池田ダム、香川用水追加）

S45. 2. 25 一部変更（新宮ダム、旧吉野川河口堰追加等）

S46. 8. 13 一部変更（高知分水追加等）

S58. 5. 24 一部変更（富郷ダム追加等）

H 4. 4. 24 全部変更（水需給計画変更）

H 9. 12. 19 一部変更（富郷ダム変更）

H11. 8. 5 一部変更（香川用水施設緊急改築追加）

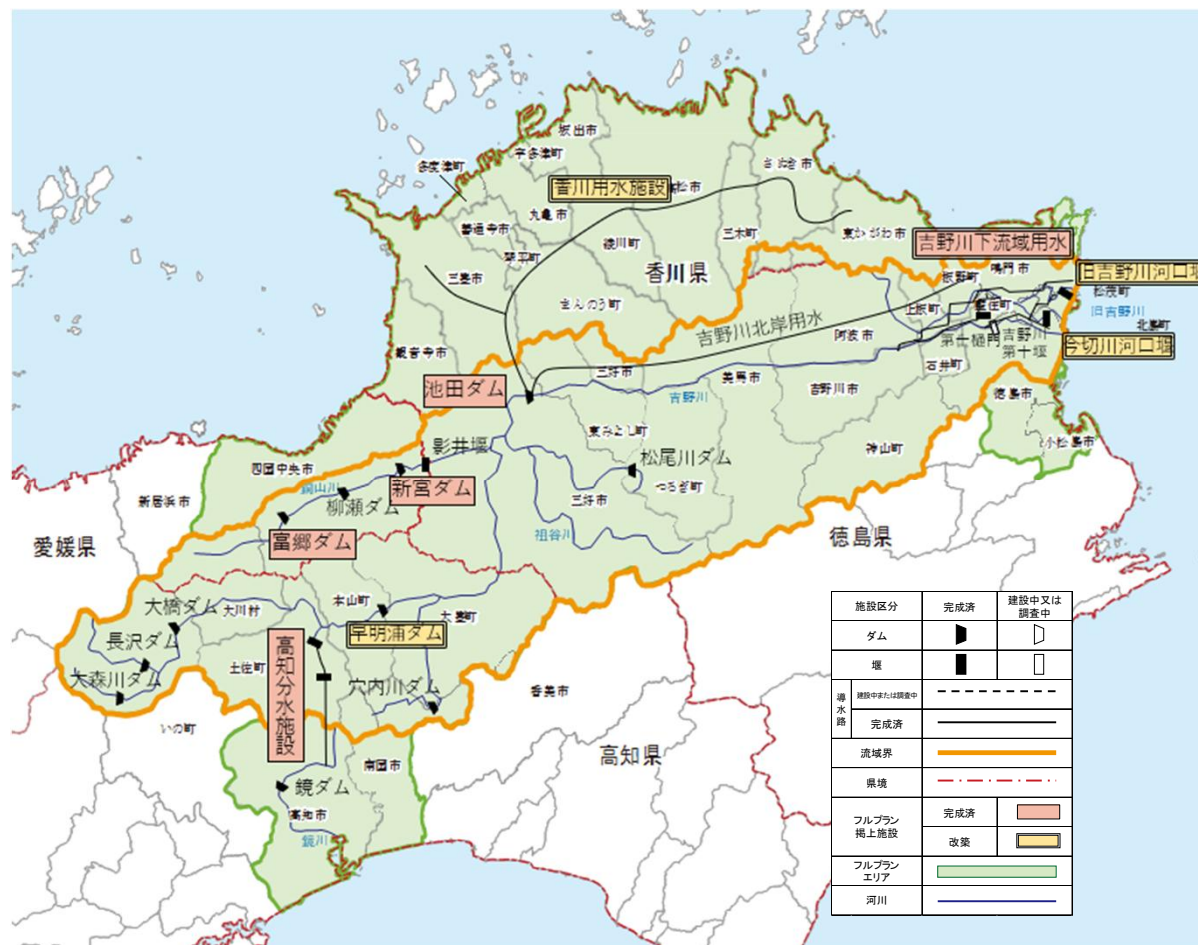
H14. 2. 15 全部変更（水需給計画変更）

H30. 3. 27 一部変更（改築事業群の包括的掲上）

H31. 4. 19 全部変更（リスク管理型への変更）

R 5. 1. 31 一部変更（吉野川下流域用水事業追加）

吉野川水系における水資源開発施設とフルプランエリア



吉野川水系フルプラン地域における水資源開発施設

- 吉野川水系では、早明浦ダム、池田ダム等が建設。これらの施設により開発された用水は、吉野川本川、旧吉野川に加え、吉野川北岸用水、香川用水、愛媛分水、高知分水を通じて、農業用水、水道用水、工業用水及び発電等の目的で四国4県に供給。

吉野川水系の水資源開発施設

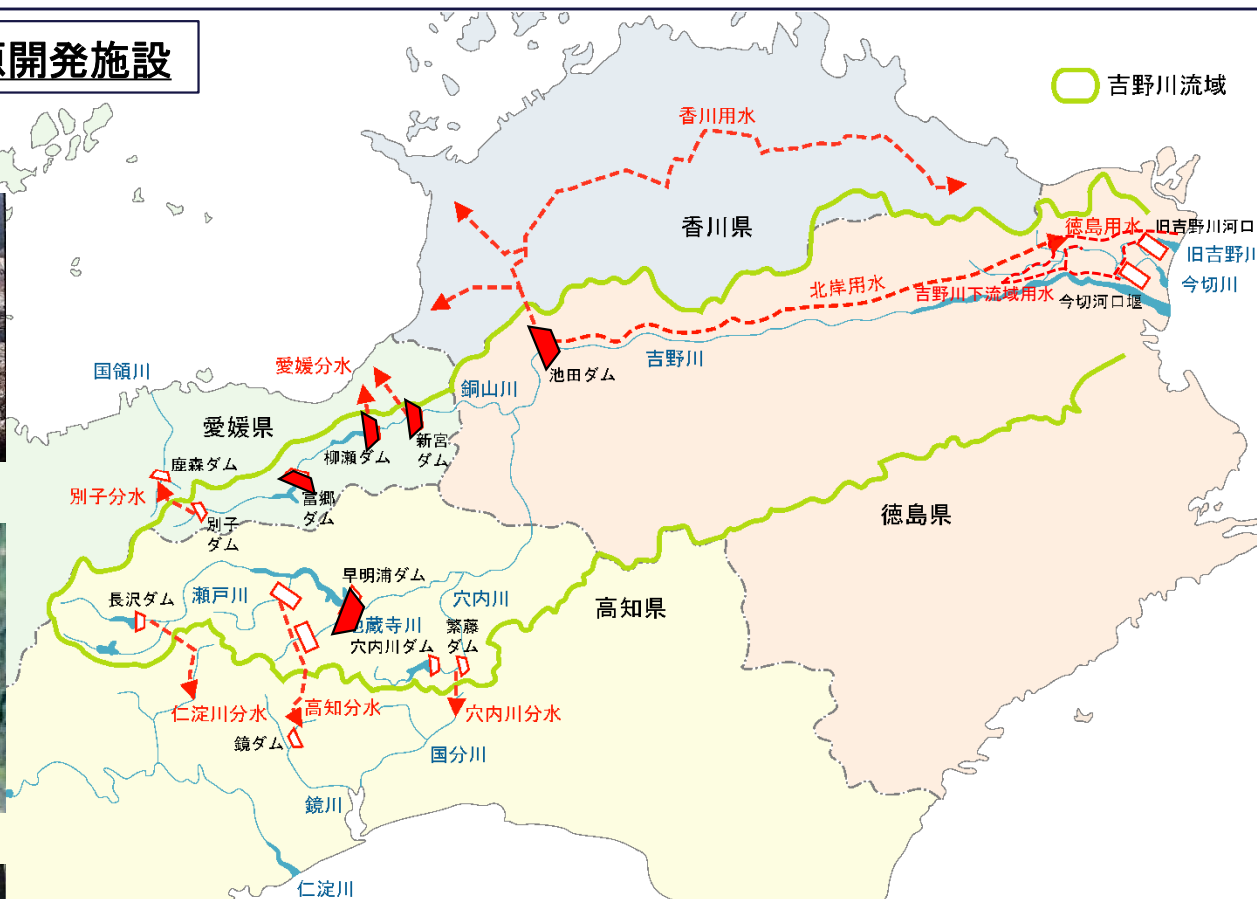
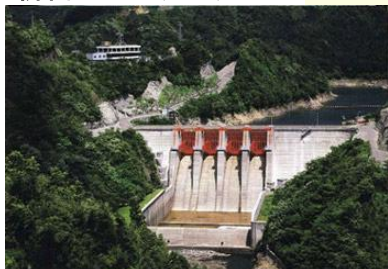
富郷ダム (H13)



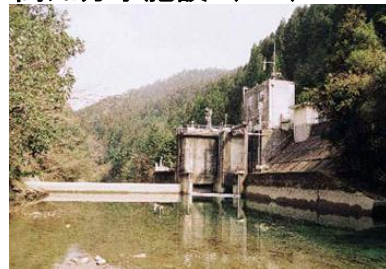
柳瀬ダム (S30) ※



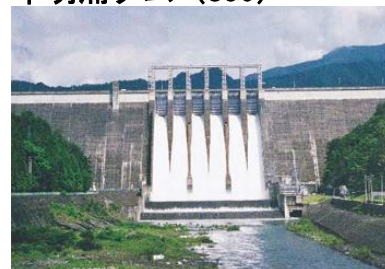
新宮ダム (S50)



高知分水施設 (S53)



早明浦ダム (S50)



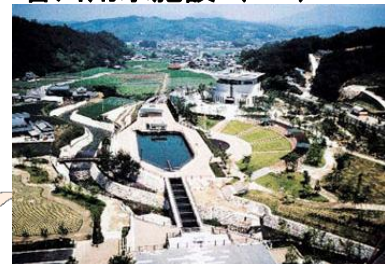
旧吉野川河口堰 (S51)



池田ダム (S50)



香川用水施設 (S51)



吉野川下流域用水 (R7)



今切川河口堰 (S51)



※ () 書きは管理開始年度

※ 柳瀬ダムはフルプラン策定(昭和41年11月)前に完成した施設

出典: 吉野川学識者会議(現地調査) H27.8.17

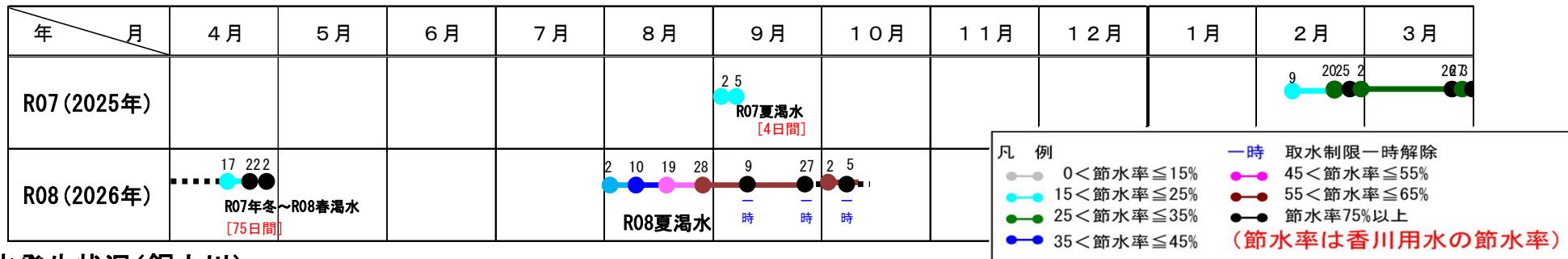
国土交通省四国地方整備局吉野川ダム統合管理事務所HP、水資源機構HP

吉野川水系における近年の渇水状況

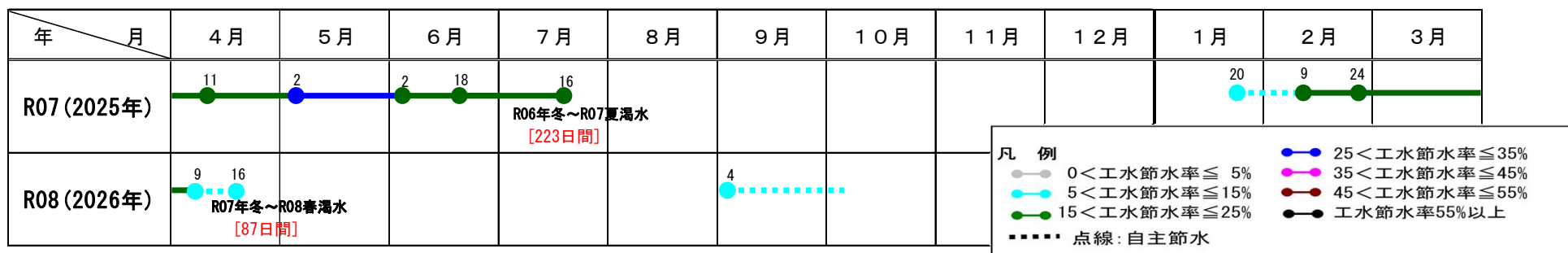
➤R7(2025)年度～ R8(2026)年度

(10月6日時点)

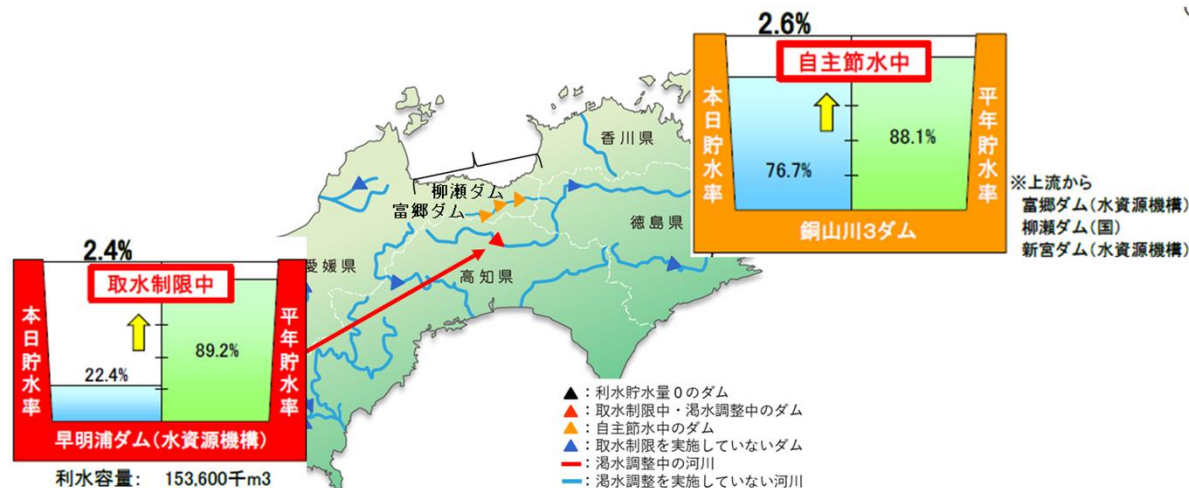
■渇水発生状況(吉野川)



■渇水発生状況(銅山川)



早明浦ダム貯水池状況(R8年10月6日)



出典: 四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所HP 渇水情報 から抽出
 国土交通省四国地方整備局HP 四国管内ダムの管理情報に水資源部に加筆

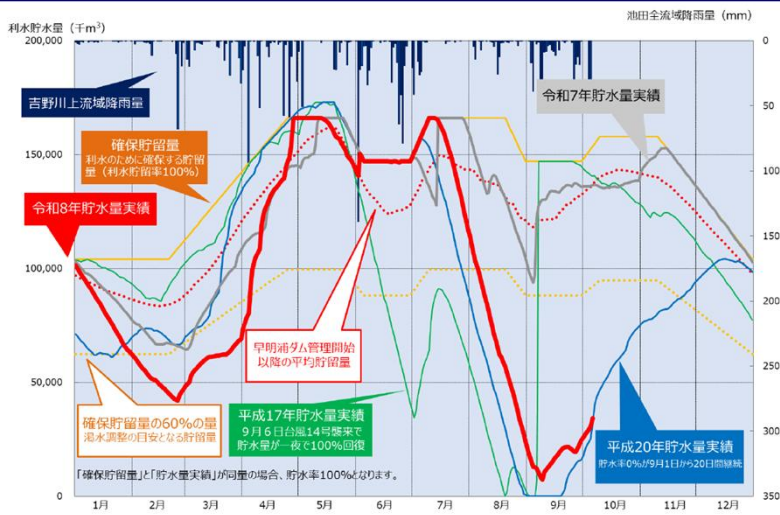
吉野川水系における近年の渇水（R8年度の渇水）

- 吉野川（池田地点上流）における降雨量は、7月は平年値の34%、8月は平年値の20%と少ない状況。
- 池田地点での必要な流量の不足分を補うために早明浦ダムから補給しており、早明浦ダムの貯水量は減少。
- 9月4日に開催された「令和8年度 吉野川水系水利用連絡協議会第5回協議会」において、早明浦ダム貯水量が0%になった場合の対応として、発電専用容量からの緊急補給等が決定された。

銅山川3ダム貯水量の変動状況（令和8年10月6日現在）



早明浦ダム貯水量の変動状況（令和8年10月6日現在）



※令和4年7月1日から確保貯留量の最大値が173,000千m³から166,000千m³に変更されました。

（別紙）

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

【記者提供資料】
Press Release

令和8年9月4日
吉野川水系水利用連絡協議会
事務局：国土交通省四国地方整備局

令和8年度 吉野川水系水利用連絡協議会
第5回協議会決定事項について

吉野川水系水利用連絡協議会第5回協議会（会長：四国地方整備局長 奥田 晃久）は、「吉野川水系水利用連絡協議会第5回協議会の決定事項」について別紙のとおり決定しました。

＜第5回協議会 決定事項＞

1. 早明浦ダムの利水貯水率が0%になった以降について
2. 河川からの緊急取水について

問い合わせ先（★主な問い合わせ先）
国土交通省四国地方整備局河川部
【協議会全般に関すること】
水政課長 大山 敏孝（内線：3551）
★水政課長補佐 香方 紀彦（内線：3552）
TEL 087（811）8316（水政課）
【ダムの水利用に関すること】
河川管理課長 酒巻 敬夫（内線：3751）
★河川管理課長補佐 岡田 武文（内線：3755）
TEL 087（811）8320（河川管理課）

吉野川水系水利用連絡協議会第5回協議会の決定事項

1. 早明浦ダムの利水貯水率が0%になった以降について
① 発電専用容量からの緊急補給について
早明浦ダムの利水貯水率が0%になった以降で、発電専用容量から上水のみを対象として緊急補給を行います。
【発電専用容量からの緊急補給量】

対象	緊急補給量
徳島用水	1.95 m³/s
香川用水	1.85 m³/s

② 緊急補給の実施時期について
早明浦ダムの利水貯水率が0%になった以降で、下記の条件で実施します。
徳島用水：早明浦ダムの利水貯水率が0%
香川用水：宝山湖からの補給が不可能となる1～2日前
なお、実施する場合は、事務局より実施日時を事前に連絡し、「発電専用容量からの緊急補給について」の記者発表を行います。
2. 河川からの緊急取水について（報告事項）
徳島県から、早明浦ダムの利水貯水率が0%になった以降で、吉野川の自然流量からの取水について要望がありました。
河川管理者（四国地方整備局）は、一時的な緊急措置として、利水貯水率が0%になった以降は、吉野川本川では毎秒9m³、派川旧吉野川では毎秒5m³の最低限必要な河川流量を確保した上で、それを超える流量について取水を認めることを了承しました。
なお、徳島県においては、各利水者の配分調整を行うとともに、適切に取水されるよう指導及び地元調整を行うことを確認しました。
また、塩水遡上への影響については現時点で未確認であるため、今後の渇水調査等により塩害のおそれが確認された場合には、河川管理者から最低限必要な河川流量改めて連絡する事を確認しました。

出典：吉野川水系水利用連絡協議会（事務局：四国地方整備局） R8年9月4日、記者発表資料